



InterSafe CATS

ディスクコピー展開モジュール使用手順書

目次

1. 概要.....	3
2. 注意事項.....	3
3. ディスクコピー展開モジュールのダウンロード.....	4
3.1. ディスクコピー展開モジュールのダウンロード.....	4
4. クライアントモジュールインストール.....	5
4.1. インストーラダウンロード.....	5
4.2. インストールの準備.....	6
4.3. setup.exe の実行.....	7
4.4. インストール開始.....	7
4.5. PC の再起動.....	8
4.6. 初期化ツールの実行.....	9
4.7. 作業用フォルダ削除.....	11
5. インストール終了の判断について.....	12
6. アンインストールについて.....	12
7. HDD コピー後の動作について.....	12

1. 概要

本ドキュメントは InterSafe CATS のディスクコピー展開モジュール「spfacct.exe」の使用手順について説明をしています。

※InterSafe CATS のディスクコピー展開モジュール「spfacct.exe」は、HDD コピー時に必要となる InterSafe CATS の初期化を行うためのモジュールです。

2. 注意事項

- ※ 本手順は、インターネット接続が可能な環境にて実施してください。
- ※ 手順 4.4 のインストールにて、管理サーバにユーザが作成されます。
このユーザは、展開後には不要となりますので、管理サーバより削除して下さい。
- ※ Sysprep などのツールを利用してマスターHDD 作成を作成する場合、CATS 展開モジュール導入後に Sysprep を実行せず再ログオンや再起動を行わないで下さい。
- ※ 本モジュールの動作対象は、InterSafe CATS のクライアントモジュールのバージョンが、1.0.211 以降になります。それ以前の InterSafe CATS のクライアントモジュールでは動作しません。
- ※ マスタ DISK から展開する際は、展開 PC の台数が契約ライセンス数を超えないようにご注意ください。
- ※ マスタ DISK から展開されますと、PC にはインストール済みの状態となるためクライアント PC の数がライセンス数を超過しても警告等は表示されません。
- ※ 契約ライセンス数を超えて展開された PC では CATS は無効になります。

InterSafe CATS のクライアントモジュールのバージョンは、[スタートメニュー]→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]から「InterSafe CATS」を選択し、「サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。」をクリックして確認できます。



クライアントモジュールのバージョン	ディスクコピー展開モジュールの対応
3.0.0.322	○ 対応
2.1.0.228	○ 対応
1.00.211	○ 対応
1.00.132	× 非対応

3. ディスクコピー展開モジュールのダウンロード

3.1. ディスクコピー展開モジュールのダウンロード

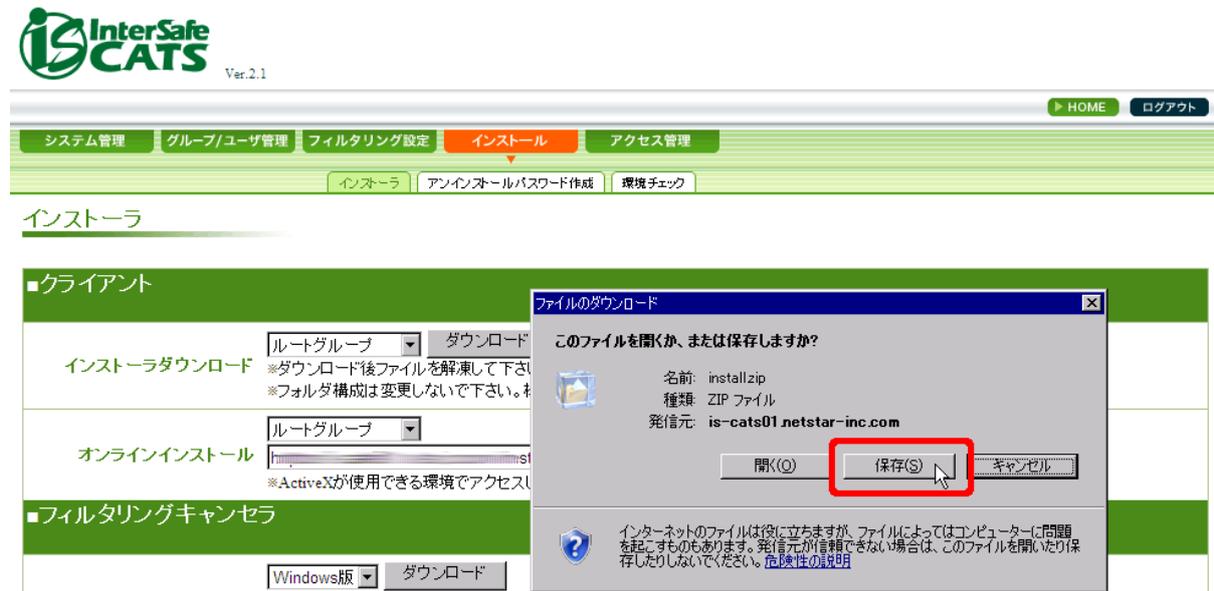
弊社 FAQ No.3495 からディスクコピー展開モジュールをダウンロードします。

ディスクコピー展開モジュール「spfacct.exe」

4. クライアントモジュールインストール

4.1. インストーラダウンロード

InterSafe CATS 管理画面にログインして、インストーラをダウンロードします。



The screenshot shows the InterSafe CATS management interface. The top navigation bar includes 'HOME' and 'ログアウト'. The main menu has 'システム管理', 'グループ/ユーザ管理', 'フィルタリング設定', 'インストール', and 'アクセス管理'. The 'インストール' menu is expanded, showing 'インストーラ', 'アンインストールパスワード作成', and '環境チェック'. The 'インストーラ' page is active, displaying options for 'クライアント' installation: 'インストーラダウンロード' and 'オンラインインストール'. A 'ファイルのダウンロード' dialog box is open, asking 'このファイルを開くか、または保存しますか?' (Do you want to open this file or save it?). The file details are: 名前: installzip, 種類: ZIP ファイル, 発信元: is-cats01.netstar-inc.com. The '保存(S)' button is highlighted with a red box. Below the dialog, there is a warning message about internet files and a link to '危険性の説明'.



ダウンロードが終了したら、アンインストールパスワードを作成します。

このパスワードは、マスターHDD 作成中に必要となる場合がありますので、あらかじめ作成をして控えておきます。



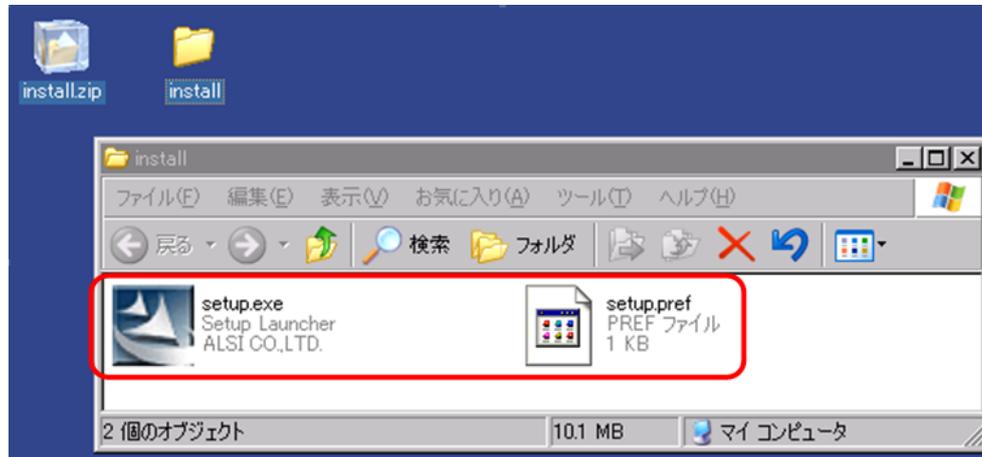
The screenshot shows the InterSafe CATS management interface. The top navigation bar includes 'HOME' and 'ログアウト'. The main menu has 'システム管理', 'グループ/ユーザ管理', 'フィルタリング設定', 'インストール', and 'アクセス管理'. The 'インストール' menu is expanded, showing 'インストーラ', 'アンインストールパスワード作成', and '環境チェック'. The 'アンインストールパスワード作成' page is active, displaying the title 'クライアント' and the instruction 'クライアントをアンインストールする為のパスワードを作成します。'. A '作成' button is highlighted with a red box. Below the button, there is a form for 'アンインストール有効期間' (Uninstall validity period) with input fields for 'FROM' and 'TO' dates, and a '作成' button. The instructions state: '有効期間で指定した期間のみ有効なパスワードが生成されます。' and '有効期間(TO)は有効期間(FROM)以降の日付を入力して下さい。'



4.2. インストールの準備

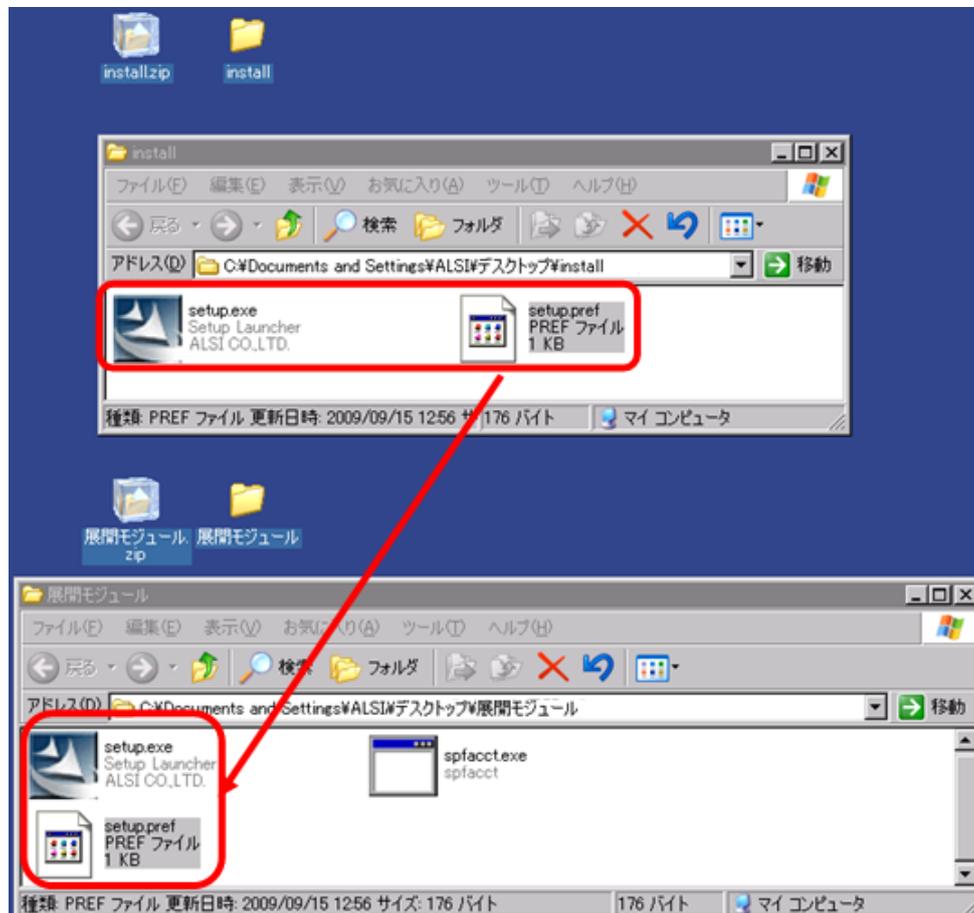
管理者ユーザでマスターHDD 作成用の PC にログインします。ダウンロードした「install.zip」を解凍し、setup.exe、setup.pref を確認します。

※ インストールは、インターネット接続が可能な環境にて実施します。



解凍した setup.exe、setup.pref を、ディスクコピー展開モジュール「spfacct.exe」のある場所にコピーします。

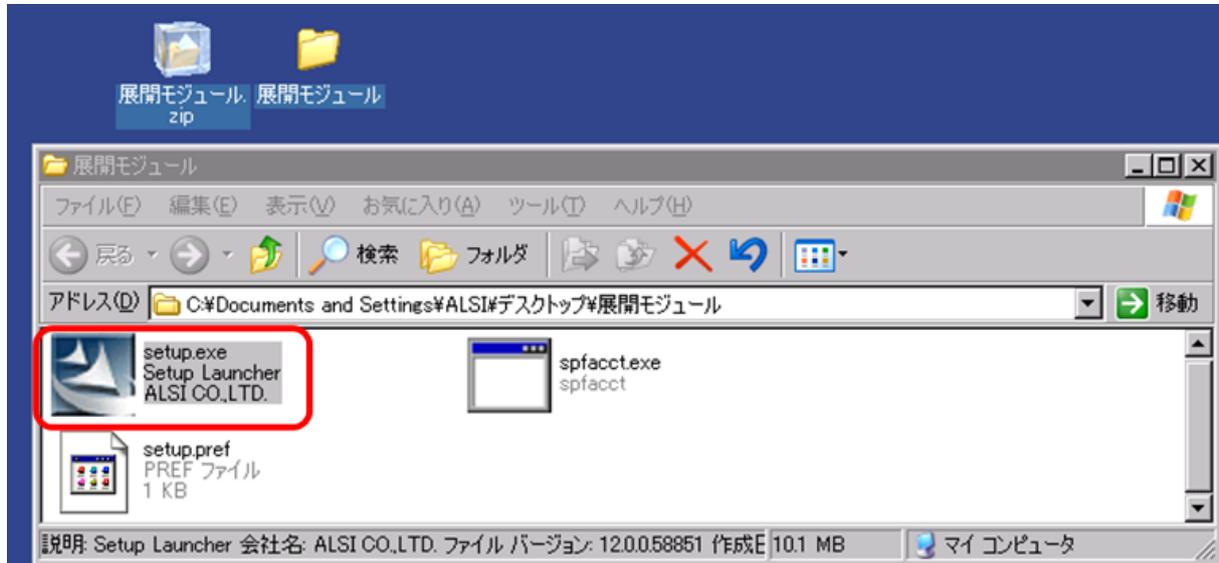
以下例では、修正プログラムフォルダを「展開モジュール」としています。



4.3. setup.exe の実行

修正プログラムの setup.exe を実行してインストールを開始します。

クライアントモジュールのインストーラが起動します。



4.4. インストール開始

画面の指示に従って、クライアントモジュールをインストールします。



4.5. PC の再起動

インストールが完了すると、再起動を要求するダイアログが表示されます。

「はい」を選択し、PC を再起動してください。



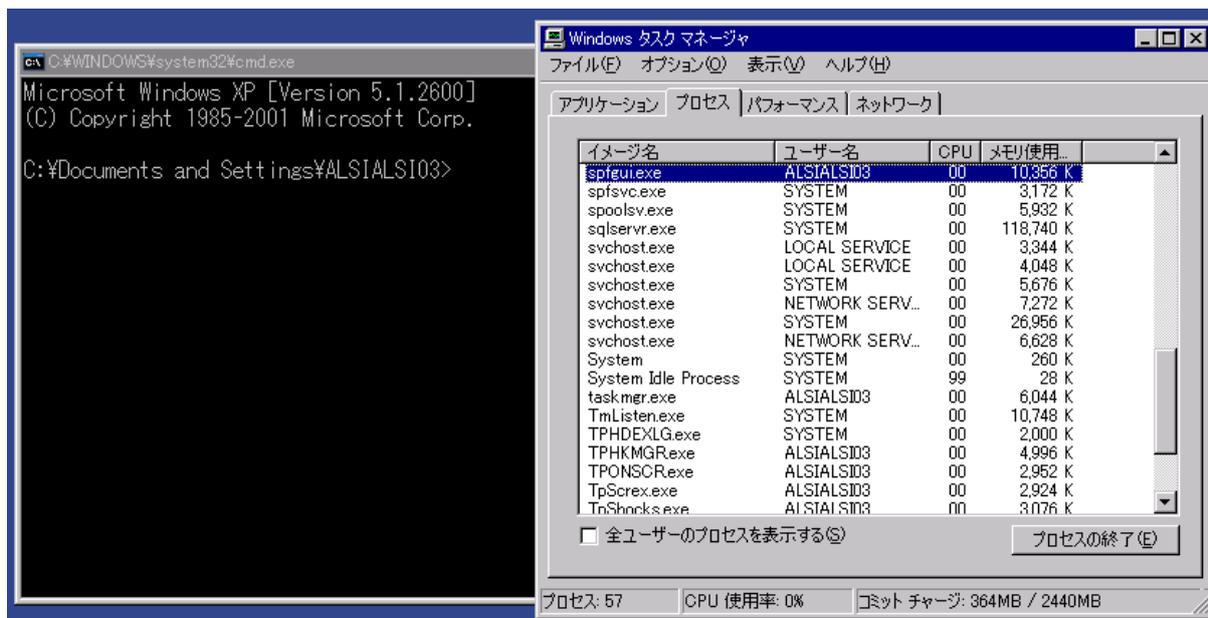
4.6. 初期化ツールの実行

再起動後、管理者ユーザでログオンを行い、以下を実施します。

コマンドプロンプトと、タスクマネージャを開いてください。

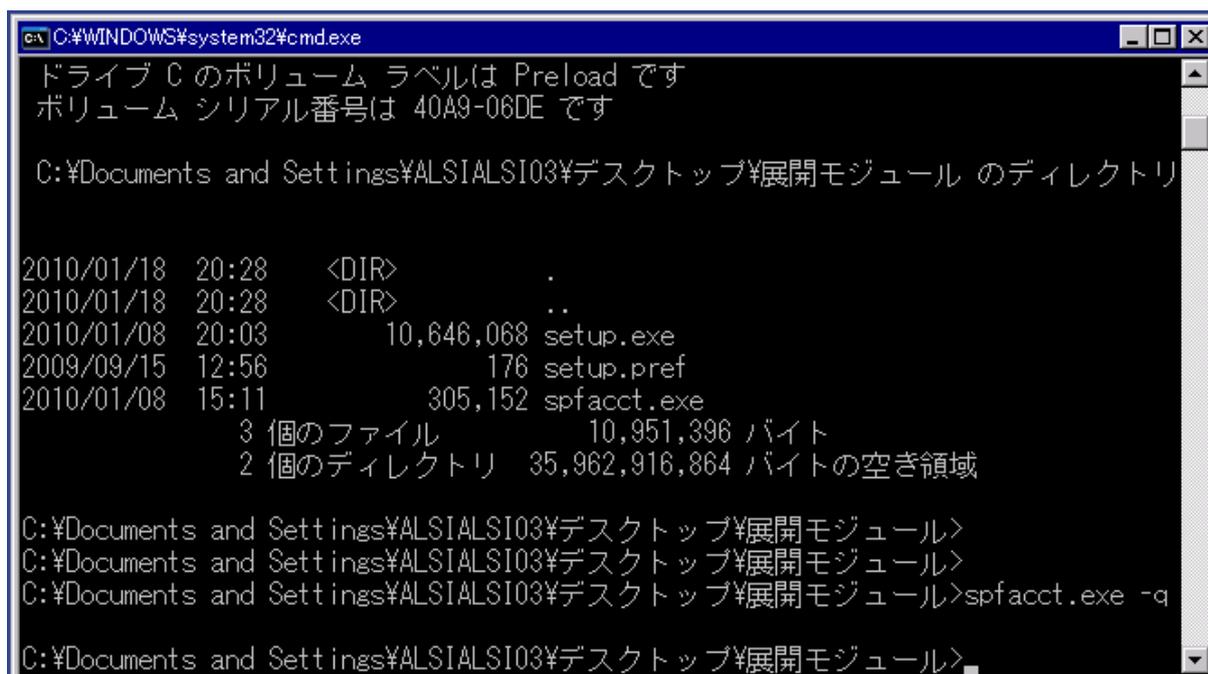
※ VISTA 以降の OS の場合は、コマンドプロンプトを右クリックし「管理者として実行」にて実行してください。

タスクマネージャにて、プロセスタブに移動し、「spfgui.exe」が動作しているのを確認下さい。



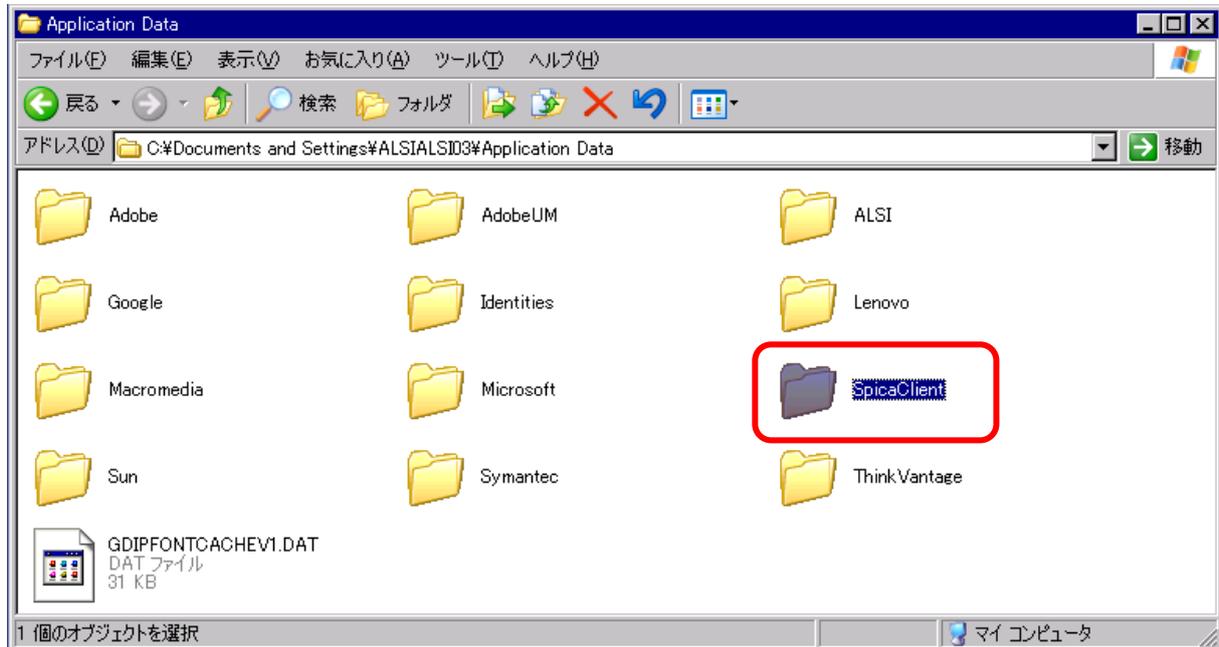
コマンドプロンプトにて「展開モジュール」ディレクトリに移動し、「spfacct.exe -q」を実行します。

コマンド実行後、「spfgui.exe」のプロセスがタスクマネージャから消えている事を確認します。



4.7. 作業用フォルダ削除

Explorer のアドレスバーに「%APPDATA%」を入力してください。フォルダが一覧で表示されます。



上図の SpicaClient フォルダがユーザ設定フォルダになります。SpicaClient フォルダを削除してください。

※ CATS インストール後、他の Windows アカウントでログオンした場合に、他の Windows アカウントの SpicaClient フォルダが作成されます。

※Sysprep を利用する場合、ここで Sysprep を実行し、シャットダウンしてください。

5. インストール終了の判断について

手順 4.4 ～手順 4.6 にて、エラーが発生しない事

6. アンインストールについて

本手順にて、CATS のクライアントモジュールをアンインストールする場合は、プログラムの追加と削除から削除を行ってください。

7. HDD コピー後の動作について

マスターHDD から、コピーDISK を作成した場合、CATS のクライアントモジュールはネットワークインターフェースを常時監視しています。

ネットワークが有効になると、自動的に CATS 管理サーバと通信を実施し、Client 情報やフィルタリングルールのダウンロード処理を実施致します。

以上